

アドマイヤハッピーの07 メス・栗毛 2007年3月14日生

全40口 ●1口75万円 (総額3,000万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



アグネスタキオン 栗 1998	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	Hail to Reason Cosmah
	アグネスフローラ 鹿 1987	Wishing Well	Understanding Mountain Flower
		*ロイヤルスキー	Raja Baba Coz o'Nijinsky
		アグネスレディー	*リマンド イコマエイカン
アドマイヤハッピー 鹿 1998	*トニービン Tony Bin 鹿 1983	*カンバラ	Kalamoun State Pension
	カーリーエンジェル 栗 1990	Severn Bridge	Hornbeam Priddy Fair
		*ジャッジアンジェルーチ	Honest Pleasure Victorian Queen
		ダイナカール	*ノーザンテースト シャダイフェザー(8)

ポイント

POINT

本馬を見てまず驚かされるのは筋肉量です。父の産駒らしい深い胸とトモの筋肉の充実は間違いなく一級品で収縮力と瞬発力に長けています。それは歩き出す一歩目からのしなやかさと、放牧地での弾力に富んだ躍動感あふれる走り実感できます。脚元は骨量豊富で関節の大きさ、柔軟性も申し分なく、全体像のまとまりの良さにつながっています。なかなか頑固な性格で納得しないと動かない面は持っていますが、納得した後の集中力は他馬を圧倒しています。皐月賞馬キャプテントゥーレを代表に母父トニービンとの相性は抜群で、さらにこの母系ならば、クラシックロードに乗せるのが必須の馬です。